

2012年3月期
第2四半期 決算説明会



サンケン電気株式会社

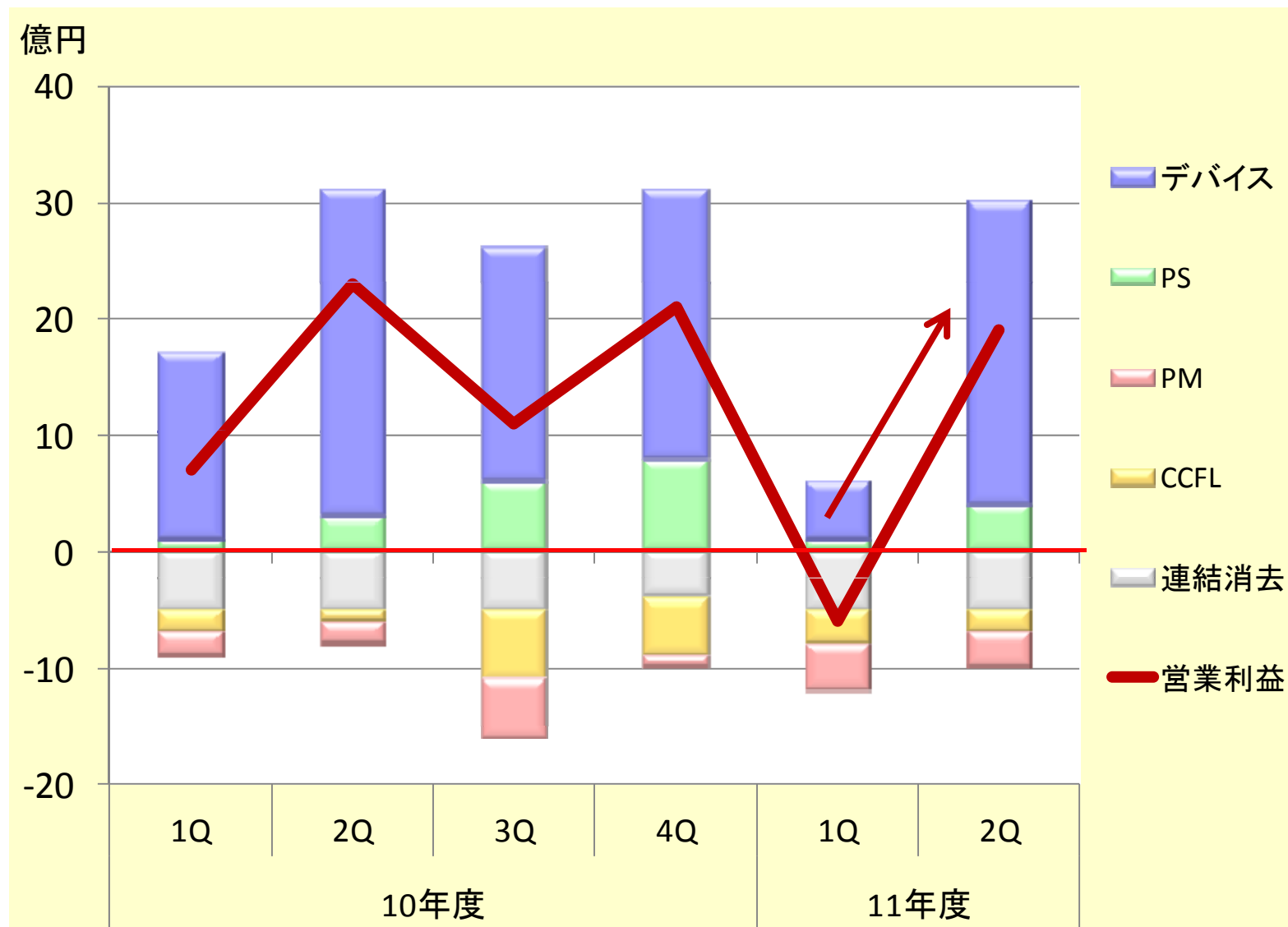
2011年11月4日

2011年度 上半期業績 (連結)

(単位: 億円)

	10年度	11年度		前年比(%)	公表値	達成率 (%)	
	上半期	1Q	2Q				上半期
売上高	718	315	346	661	-7.9	714	92.6
デバイス	500	232	251	483	-3.4	515	93.8
CCFL	37	5	5	10	-73.0	17	58.8
PM	111	46	52	98	-11.7	110	89.1
PS	70	32	39	71	1.4	72	98.6
営業利益	30	-6	19	13	-56.7	24	54.2
経常利益	22	-9	13	4	-81.8	17	23.5
当期純利益	7	-18	5	-13	-	0	-

営業利益の推移（セグメント別）



2011年度 通期業績 予想 (連結)

(億円)

	10年度 実績			11年度 (予想)			通期増減	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	718	731	1,449	661	749	1,410	-39	-2.7
デバイス	500	498	998	483	547	1,030	32	3.2
CCFL	37	22	59	10	10	20	-39	-66.1
PM	111	111	222	98	92	190	-32	-14.4
PS	70	99	169	71	99	170	1	0.6
営業利益	30	31	61	13	37	50	-11	-18.0
経常利益	22	28	50	4	28	32	-18	-36.0
当期純利益	7	-16	-9	-13	18	5	14	-

【通期業績予想の修正】

- 1 世界経済の厳しい見通し
- 2 円高の影響 (下半期設定: 77円/US\$)
- 3 TV向け製品の売上減少

売上高	: 1,500	⇒	1,410	億円
営業利益	: 75	⇒	50	億円
経常利益	: 60	⇒	32	億円
当期純利益	: 25	⇒	5	億円

基本方針

「売上規模拡大」と「成果の刈り取り」

売上規模 拡大

市場成長
+
5Newマーケット
(自己成長)

「エコ・省エネ」

エナジースター 白物INV化

HV/EV LED照明

パワー・マネジメント 太陽光

「新興国市場」

量は在る
(%増→何倍)

低価格
スピード

経営改革

「原価改革」

- ・ファクトリーの活用
- ・ダブルスタンダードコストの実現
- ・アッセンブリライン再編
- ・不採算製品終息

「構造改革」継続

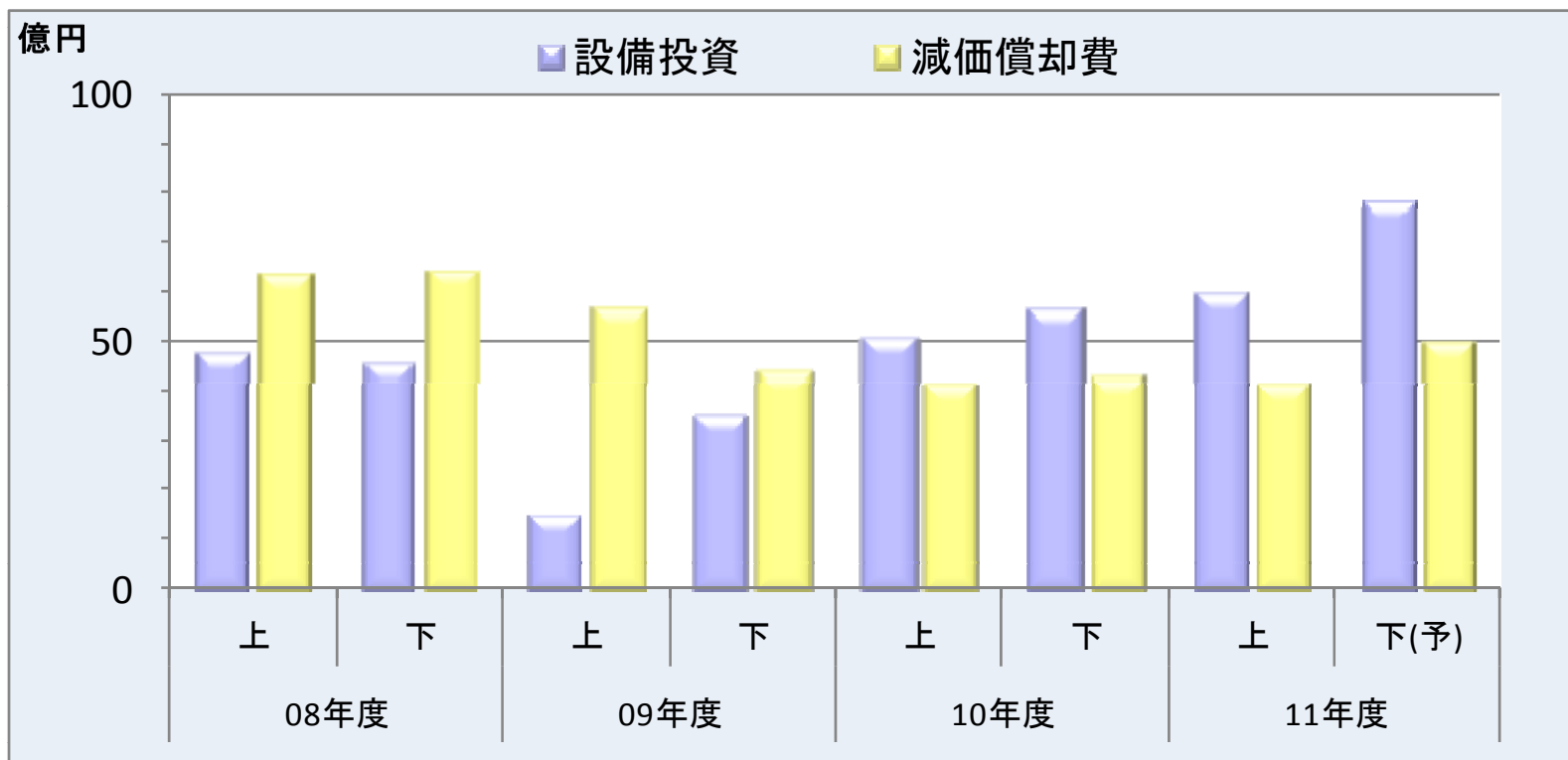
- ・損分点運営
- ・キャッシュフロー経営
- ・構造改革

下期緊急対策

「TV売上減対策」

「円高対策」

設備投資・減価償却費



11年度 設備投資計画 140億円（国内80） 減価償却費 90億円（国内50）
＜成長の見込める 車載・白物市場向け 生産能力を確保＞

世界的なエコ・省エネニーズの実現は
「パワーデバイス」、「パワーシステム」が主役

当社のコアコンピタンスが活躍の舞台

◆ 密着営業、カスタム対応で築き上げた「顧客からの信頼」

市場

地域：日本・韓国・中華圏・欧米

市場：民生・車載・通信 [人脈・技術サポート体制]

◆ エコ・省エネに不可欠な「パワーソリューション」技術

技術

プロセス・ASSY・回路・装置

[広範な技術蓄積]

◆ 他社には真似の出来ない「トータルソリューション」の提供

製品

デバイス・センサー・LED・ボード・装置

[多様な選択肢]

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。